

新しい生活様式の中での柔道! 模索中!

☆ 平 柔 通 信 ☆

平塚柔道協会発行
責任者 会長 奥山晴治

東京2020出場選手が平塚柔道協会に来た!!!



東京五輪柔道競技が終了後の8月3日、井上代表の案内により、コロナ禍において当協会が稽古の受け入れをした出場選手が当協会を表敬してくれました。お疲れ様でした。子供達にとっても良い思い出となったことと思います。

夏の成果 先輩たちの活躍! 中学・高校でOB・OGが入賞!

中学生

県大会

7月28日に小田原市で開催、金目中女子団体が優勝、個人では柴田君が90キロ級で優勝

関東大会

8月9日及び10日に山梨県で開催、女子団体が優勝し、個人では男子60キロ級で真田君が優勝、宮田君・野上さんが2位、柴田君が3位

全国大会

8月22日から25日に群馬県で開催、金目中は女子団体が全中初となる団体3位、個人では柴田君が90キロ級で準優勝

高校生

8月8日から10日まで長野県で開催されたインターハイに多くの平柔OB・OGが出席、五十嵐君が準優勝、出場選手は次のとおり【男子】

60Kg級 五十嵐健太(神奈川県:桐蔭学園) 2位
宮田大聖(福井県:福井工大高)
73Kg級 木村銀次((福井県:福井工大高) 団体
81Kg級 岸田耕平(白鷺足利:栃木県) 団体
久保圭介(愛媛県:新田高)

【女子】

57Kg級 橋本瑠音(千葉県:木更津総合高)
63Kg級 高橋瑠奈(宮城県:東北高) 団体

「62歳の高校生」が全国大会出場へ! ~東京都定時制大会での話~

東京都の定時制高校に所属する62歳の男性が、全国高校定時制通信制柔道大会の都代表に選ばれたとのこと。トラックの運転手をしながら「勉強と柔道をやり直したい」と2017年に定時制高校に入学、仕事と授業を終えた後、学校の道場で汗を流してきたそうです。最後の挑戦となる今回の目標は3位とのこと。本当に頭が下がります。柔道に「引退」はないということを教えてくれた良いお手本だと思います。

(お知らせ1) コロナ禍で全国小学学年別体重別柔道大会が中止に! 石川さん残念!

(お知らせ2) 9月12日(日)に開催される平塚少年柔道大会は平柔のみで実施します。(規模縮小)

(9月の予定) 練習日 火曜日及び土曜日 ※ 神奈川県に緊急事態宣言発令中

(雑感) ~うれしい連絡~ 先日、大阪で指導していた当時小学生の父親から連絡をいただきました。内容は、中学2年になった娘さんが、大阪府大会で準優勝したことでした。その中学では指導者もいないところ、小学から始めた柔道を中学でも続け、さらに、体力向上のためにスイミングにも通い、家でも懸垂器具で毎日トレーニングしていたそうです。当時、その子は非常に内向的な子でした。しかし、組んでみると非常に力強く、また、内股の脚の上げ方が非常に良かったので、本人のやる気次第では、大化けするのではと、密かに期待し、とにかく「いいよ・いいよ」と褒めて、自分に自信を持たせてやりたいと考えていました。本人は、親に、筆者に出会っていなかったら「柔道を好きになってはいなかった」と言っているそうです。指導者としては非常にうれしいですね。この連絡を受け、とにかく、今、少年柔道の指導者が行うべきことは、子供達が、柔道を長く続けてくれるように、柔道の楽しさ・素晴らしさを教えて意識付けしていくことだということを再認識しました。62歳で全国大会に出場する選手もいます。柔道の修行は生涯続きます。(五)

今月の目標・

テル夕株は感染力が強い。コロナの感染防止対策を万全に!